【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公開番号】特開2000-204928(P2000-204928A)
【公開日】平成12年7月25日(2000.7.25)
【出願番号】特願2000-27323(P2000-27323)
【国際特許分類第７版】
　Ｆ０１Ｎ　3/08
　Ｂ０１Ｄ　53/94
　Ｂ０１Ｊ　23/63
　Ｆ０１Ｎ　3/10
　Ｆ０１Ｎ　3/24
　Ｆ０１Ｎ　3/28
【ＦＩ】
　Ｆ０１Ｎ　3/08　ＺＡＢＡ
　Ｆ０１Ｎ　3/10　ＺＡＢＡ
　Ｆ０１Ｎ　3/24　Ｒ
　Ｆ０１Ｎ　3/28　３０１Ｃ
　Ｂ０１Ｄ　53/36　１０１Ａ
　Ｂ０１Ｄ　53/36　１０３Ｂ
　Ｂ０１Ｊ　23/56　３０１Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成15年10月15日(2003.10.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
排ガス中の各成分間の酸化還元化学量論関係において還元剤に対して酸化剤が多い状態でＮＯｘを化学吸着し、酸化剤に対し還元剤が同量以上の状態で吸着したＮＯｘを接触還元するＮＯｘ吸着触媒を排ガス流路に配置してなる排ガス浄化装置であって、前記ＮＯｘ吸着触媒としてカリウム，ナトリウム，ストロンチウム及びカルシウムから選ばれる少なくとも一種と、セリウム等の希土類から選ばれる少なくとも一種と、白金，ロジウム，パラヂウム等の貴金属から選ばれる少なくとも一種と、チタン及びシリコンから選ばれる少なくとも一種の元素を含む、金属及び金属酸化物もしくは複合酸化物からなる組成物を多孔質耐熱性金属酸化物に担持してなる触媒を備え、ＥＣＵの判定及び制御信号によりリーン運転から酸化剤に対し還元が同量以上のリッチ状態へのシフトを行い、該リッチシフトの時間をカウントし所定の時間を超えればリッチシフトを完了するようにしたことを特徴とする内燃機関の排ガス浄化装置。
【請求項２】
請求項１において、前記リーン運転時にＮＯｘ吸着量の推定演算を行い該推定ＮＯｘ吸着量が所定限界量であるか否かを判定し、ＮＯｘ吸着能がない場合に前記リッチ側へのシフトを行い前記リッチシフト時間のカウントを行うことを特徴とする内燃機関の排ガス浄化装置。
【請求項３】
請求項１において、前記リーン運転時にＮＯｘ吸着量の推定演算を行い該推定ＮＯｘ吸着

量が所定限界量であるか否かを判定し、ＮＯｘ吸着能がある場合には前記ＥＣＵの指示通りの設定空燃比運転を行い、ＮＯｘ吸着能がない場合に前記リッチ側へのシフトを行い前記リッチシフト時間のカウントを行うことを特徴とする内燃機関の排ガス浄化装置。